

平成 29 年 4 月 25 日

みずき野町内会

会長 佐々木保昌

副会長 山下勝博 (防災担当)

防災部長 村越喜昭

みずき野防災便り

町内会の災害対策本部立ち上げは震度 5 強以上です。

震度 5 強は白布準備

家族の安否確認後、門扉から見える位置に白布を結んで下さい。

着衣着火の危険

毎年 100 人前後の方が、衣服に移った炎で火傷を負って亡くなっています。これを着着火と言います。なかでも高齢者の割合は高くなっています。加齢による判断力の低下や運動機能の低下に加え、火が見えにくくなっていることが影響しているものと考えられます。高齢になるほど青い火が見えにくくなり、白内障が進むと一層そうなります。

危険を避けるために

袖口や裾の広がった服、けば立った服は着火しやすく、火を扱う時には、要注意。電気ストーブも近寄り過ぎると衣服が燃え上る。炎が見えぬからと油断は禁物。高齢者や子供には防災製品の衣服を。



着火してしまったら

直ぐに水をかぶる。花瓶の水でも、水槽の水でも構わず直ぐに。手近に水がなければ地面や床に体を倒し燃えているところを押し付けて酸素を絶つ。走り回ると危険です。